

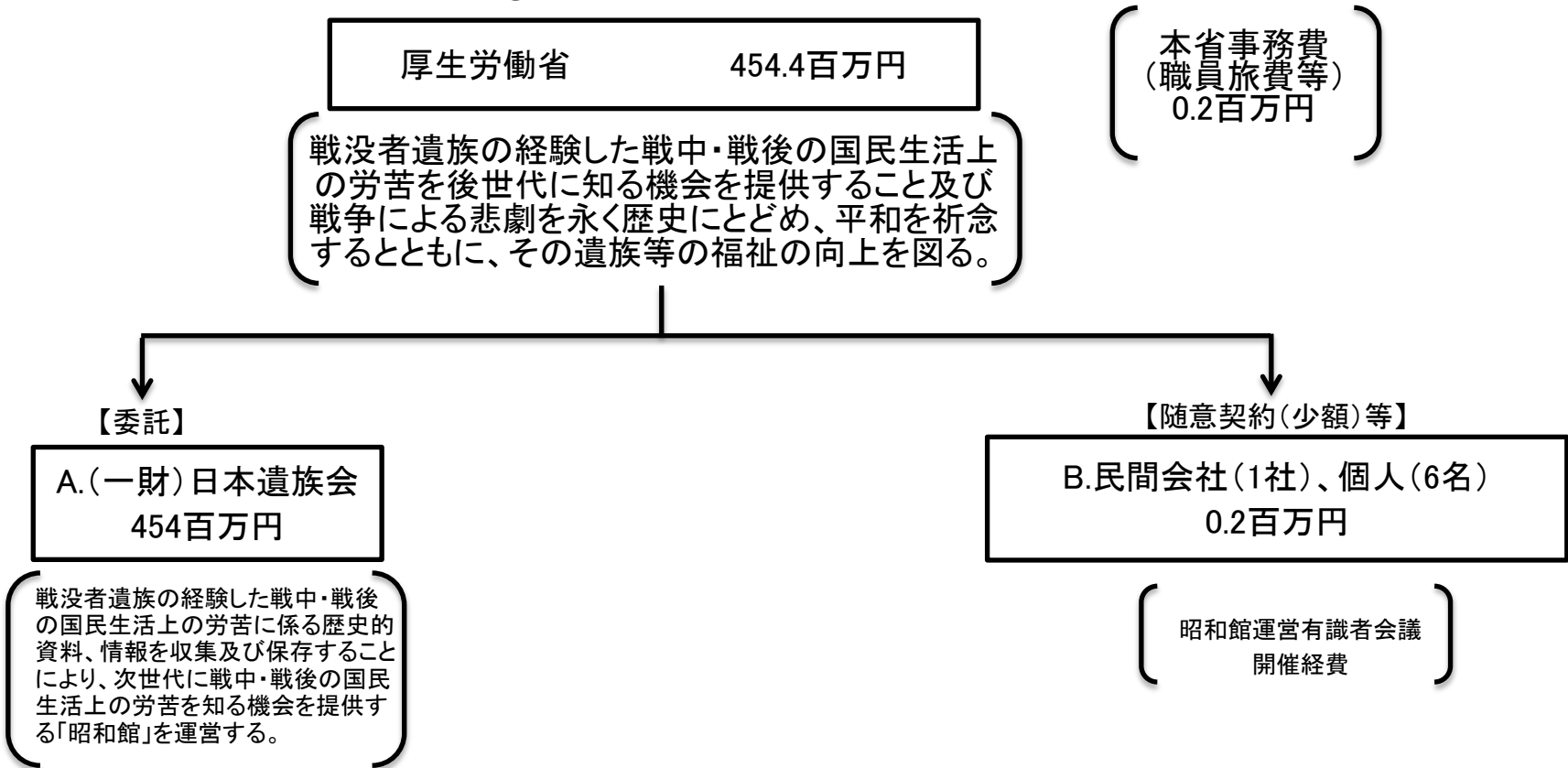
事業番号0708											
平成２９年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	昭和館運営等事業				担当部局庁	社会・援護局			作成責任者		
事業開始年度	平成１１年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	援護企画課			矢田 真司		
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	－				関係する計画、 通知等	昭和館運営委託費の交付について（平成29年3月29日厚生労働省発社援0329第23号） 遺族及留守家族等援護活動費の国庫補助について（平成29年3月27日厚生労働省発社援0327第11号）					
主要政策・施策	－				主要経費	恩給関係					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を次世代に継承すること及び戦争による悲劇を永く歴史にとどめ、平和を祈念するとともに、その遺族等の福祉の向上を図ることを目的とする。										
事業概要 （5行程度以内。別添可）	平成11年度より、主に戦争に関する歴史的事実のうち、戦没者遺児をはじめとする戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料、情報を収集及び保存することにより、次世代に戦中・戦後の国民生活上の労苦を知る機会を提供する「昭和館」を運営する。 また、平成14年度より、対馬丸記念館という、地域住民の交流の場において、高齢化した戦没者遺族等を含めた地域住民に対するメンタルヘルス相談、生活相談、その他生活上の各種相談及び遺族の内面的心情に関する事例調査研究並びに地域に密着した各種相談講習会を行う遺族相談事業を実施する（補助率：国10/10）。										
実施方法	委託・請負、補助										
予算額・執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	478	507	465	753	491				
		補正予算	－	－	－	－					
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－				
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－					
		予備費等	－	－	－	－					
	計		478	507	465	753	491				
	執行額		477	507	459						
	執行率（％）		100%	100%	99%						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		100%	100%	99%						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	遺族及留守家族等援護事務委託費		453.6	480.3	館内設備等の多言語化に伴う増、昭和館の建物等修繕の終了に伴う減						
	各所修繕費		294	5.3							
	遺族及留守家族等援護活動費補助金		4.9	4.9							
	職員旅費		0.2	0.2							
	庁費		0.1	0.1							
	その他		0.2	0.2							
	計		753	491							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 29年度
	平成29年度に昭和館の来館小学校数を前年度以上にする		昭和館の来館小中学校数		成果実績	校	600	567	598	－	－
					目標値	校	464	600	567	－	598
					達成度	％	129.3	94.5	105.5	－	－
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	昭和館年報用基礎データ										
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 29年度
	平成29年度に対馬丸記念館の遺族相談事業、地域連携事業、地域相談講習会の参加者数を前年度以上にする		対馬丸記念館の遺族相談事業、地域連携事業、地域相談講習会の参加者数		成果実績	人	111	242	211	－	－
					目標値	人	158	111	242	－	211
					達成度	％	70.3	218	87.2	－	－
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	平成28年度遺族及留守家族等援護活動費補助金事業実績報告										

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
		昭和館における広報資料の小中学校への送付箇所数		活動実績	箇所	37,403	31,576	30,223	－	－	
				当初見込み	箇所	37,724	37,403	31,576	30,223		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
		対馬丸記念館における遺族相談事業に係る広報資料の送付箇所数		活動実績	箇所	2,029	2,812	2,983	－	－	
				当初見込み	箇所	2,400	2,029	2,812	2,983		
単位当たりコスト		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
		昭和館の執行額／昭和館の入館者数		単位当たりコスト	円	1,257	947	1,284	1,283		
				計算式	X/Y	466,368,000/370,311	497,171,000/525,056	454,039,000/353,600	453,672,000/353,600		
単位当たりコスト		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
		対馬丸記念館における遺族相談事業の執行額／対馬丸記念館の相談事業、地域連携事業、地域相談講習会の参加者数		単位当たりコスト	円	43,820	20,099	23,052	23,052		
				計算式	X/Y	4,864,000/111	4,864,000/242	4,864,000/211	4,864,000/211		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	戦傷病者・戦没者遺族等への援護、戦没者の遺骨の収集等を行うこと(Ⅶ－3)								
		施策	戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等の援護を行うこと(Ⅶ－3－1)								
		測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標年度 29年度
			昭和館の入館者数	実績値	人	370,311	525,056	353,600	－	－	
				目標値	人	306,295	407,342	525,056	－	353,600	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	・主に戦争に関する歴史的事実のうち、戦没者遺児をはじめとする戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料及び情報を収集、保存、展示することにより、次世代に戦中・戦後の国民生活上の労苦を知る機会を提供する。 ・資料・情報の収集や企画展の実施を通し、来館を促進し、より多くの人々に戦中・戦後の国民生活上の労苦を知る機会を提供する。 ・対馬丸記念館という地域住民の交流の場において、高齢化した戦没者遺族等を含めた地域住民に対するメンタルヘルス相談、生活相談、その他生活上の各種相談及び遺族の内面的心情に関する事例的調査研究を行う。また、地域に密着した各種相談講習会を行う。 これらにより、戦没者遺族等の援護に寄与する。										
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野：	－	－						
		(第1段階) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
			－	成果実績	－	－	－	－	－	－	
目標値				－	－	－	－	－	－		
達成度				%	－	－	－	－	－		
(第2段階) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度	
		－	成果実績	－	－	－	－	－	－		
	目標値		－	－	－	－	－	－			
	達成度		%	－	－	－	－	－			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
－											

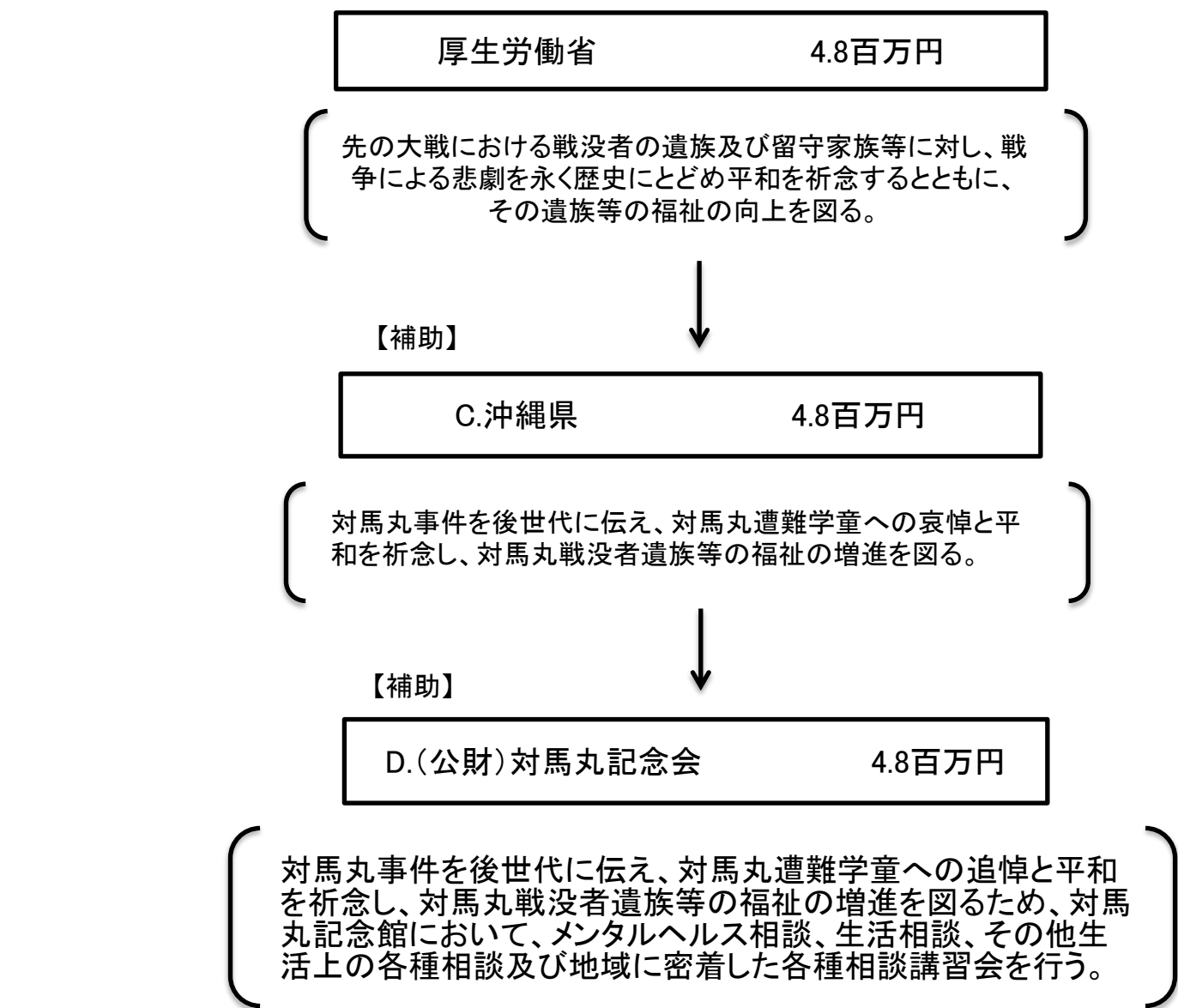
事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を次世代に継承すること及びその遺族の福祉向上を図ることを目的としており、戦後71年を経過した平成28年度においても、引き続き来館小中学校数等の実績は安定しており、社会のニーズを的確に反映している事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業の目的である戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を次世代に継承すること及びその遺族の福祉向上を図ることは国の責務であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を次世代に継承すること及びその遺族の福祉向上を図るため、昭和館運営等事業は必要であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札を実施し競争性の確保に努めているが、昭和館の運営事業については、「昭和館運営委託費交付要綱」に基づき、一般財団法人日本遺族会に委託している。当該団体は、戦没者遺児記念館（仮称）基本構想（平成4年8月）により、労苦を自ら体験した戦没者の全国組織である団体が最適であるという意見から選定したものである。また、一者応札になった案件があることを踏まえ、前回仕様書を受領した事業者に声かけを行うこととした。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	昭和館については、一部入場料を徴収していないフロアがあるが、施設の性格に鑑み、妥当と考える。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	実績を元に必要最小限の予算計上に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	本事業は、昭和館運営事業費や遺族の福祉向上のための補助事業費となっており、必要費目に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			△	昭和館は見込みどおりの実績となったが、対馬丸記念館は事業実施日の天候不良により見込みを下回った。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦を次世代に継承するための展示施設を運営し、多くの入館者数を集めていることから実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	平成28年度における昭和館の広報資料の送付箇所数については、効率性を考慮して送付方法を見直したため、見込みを若干下回った。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	施設については、戦没者遺族の戦中・戦後の労苦を次世代に継承するため十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			○	当課の事業は対馬丸戦没者遺族等の福祉の向上を図ることを目的としているのに対し、内閣府の事業は対馬丸事件を次世代に伝えることを目的としており、事業の実施目的が異なることから、適切な役割分担を果たしている。	
	所管府省名	事業番号	事業名			
	内閣府	0080	沖縄の戦後処理対策に必要な経費			
点検・改善結果	点検結果	本事業については、活動実績、成果実績ともに若干見込みを下回るものであったが、予算規模、支出もそれに見合った適正なものとなっている。引き続き、戦没者遺族の労苦を次世代へ継承すること及びその遺族の福祉向上を図るための事業を行っていく必要がある。				
	改善の方向性	昭和館は見込みどおりの実績となったものの、対馬丸記念館は見込みを下回ったため、要因を分析した上で必要な予算措置を行っていく。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
通現 り 状	引き続き、必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
通現 り 状	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	456	平成23年度	414	平成24年度	360	
平成25年度	725	平成26年度	723	平成27年度	739	
平成28年度	706					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

①昭和館に係る経費



②遺族及留守家族等援護活動費補助金



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(一財)日本遺族会			B.百万円を超える支出が無いため省略		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	昭和館の運営に係る職員給与、諸謝金、非常勤報酬等	161.3			
	施設維持管理費	昭和館の施設維持管理に必要な経費	99.5			
	展示事業経費	昭和館の展示事業等に必要な展示資料収集費、映像資料関連経費、情報機器関係費等にかかる経費	93.8			
	事務費	昭和館の運営に必要な備品購入費、消耗品費、通信運搬費、光熱水料、印刷製本費等にかかる費用	70.7			
	特別企画展経費	昭和館の趣旨がより深く理解されるために開催する特別企画展に必要な経費	24.1			
	来館促進経費	昭和館の普及啓発に必要な経費	17.3			
	職員旅費	昭和館の運営に係る職員の旅費	3.4			
	入館料等収入	昭和館来館者の入館料及び駐車場使用料等	▲16.1			
	計		454	計		0
	C.沖縄県			D.(公財)対馬丸記念会		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	(公財)対馬丸祈念会に対する補助	4.8	事務費	健康相談及び生活相談事業に必要な消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、借料及び損料、賃金に係る経費	3.8
				諸謝金	生活相談員に対する謝金	1
	計		4.8	計		4.8

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)日本遺族会	9010005003575	戦没者遺族の経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料及び歴史的情報を収集・保存し、次世代に対してこれらの労苦を知る機会を提供するための施設「昭和館」の運営を行う。	454	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	昭和館運営有識者会議に係る謝金、出席旅費	0	その他	-	-	-
2	個人B	-	昭和館運営有識者会議に係る謝金、出席旅費	0	その他	-	-	-
3	個人C	-	昭和館運営有識者会議に係る謝金、出席旅費	0	その他	-	-	-
4	個人D	-	昭和館運営有識者会議に係る謝金、出席旅費	0	その他	-	-	-
5	個人E	-	昭和館運営有識者会議に係る謝金	0	その他	-	-	-
6	個人F	-	昭和館運営有識者会議に係る謝金	0	その他	-	-	-
7	(株)ホテルグランドパレス	2010001029119	昭和館運営有識者会議に係る会議費	0	随意契約(少額)	-	100%	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄県	1000020470007	先の大戦における戦没者の遺族及び留守家族等に対し、戦争による悲劇を永く歴史にとどめ、平和を祈念するとともに、その遺族等の福祉の向上を図る。	4.8	補助金等交付	-	--	

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公財)対馬丸記念会	4360005000757	先の大戦における戦没者の遺族及び留守家族等に対し、戦争による悲劇を永く歴史にとどめ、平和を祈念するとともに、その遺族等の福祉の向上を図る。	4.8	補助金等交付	-	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	--	